

奈良県川上村の観光情報が満載！

第16号

2025年冬

ひとめぐり かみかみ

森の奥で生まれた一滴の水が、川となり、まちを潤し、
海にいたって、空に還る。

その大きな“ひとめぐり”の中で、
水が生まれる「源流」に奈良県川上村はあります。
ここには自然、素朴なくらし、
あたたかな人のつながりが受け継がれています。
さまざまな体験プログラムで
川上村を“ひとめぐり”してみましょう。
都会では得られない感動に、きっと出会えるはず。

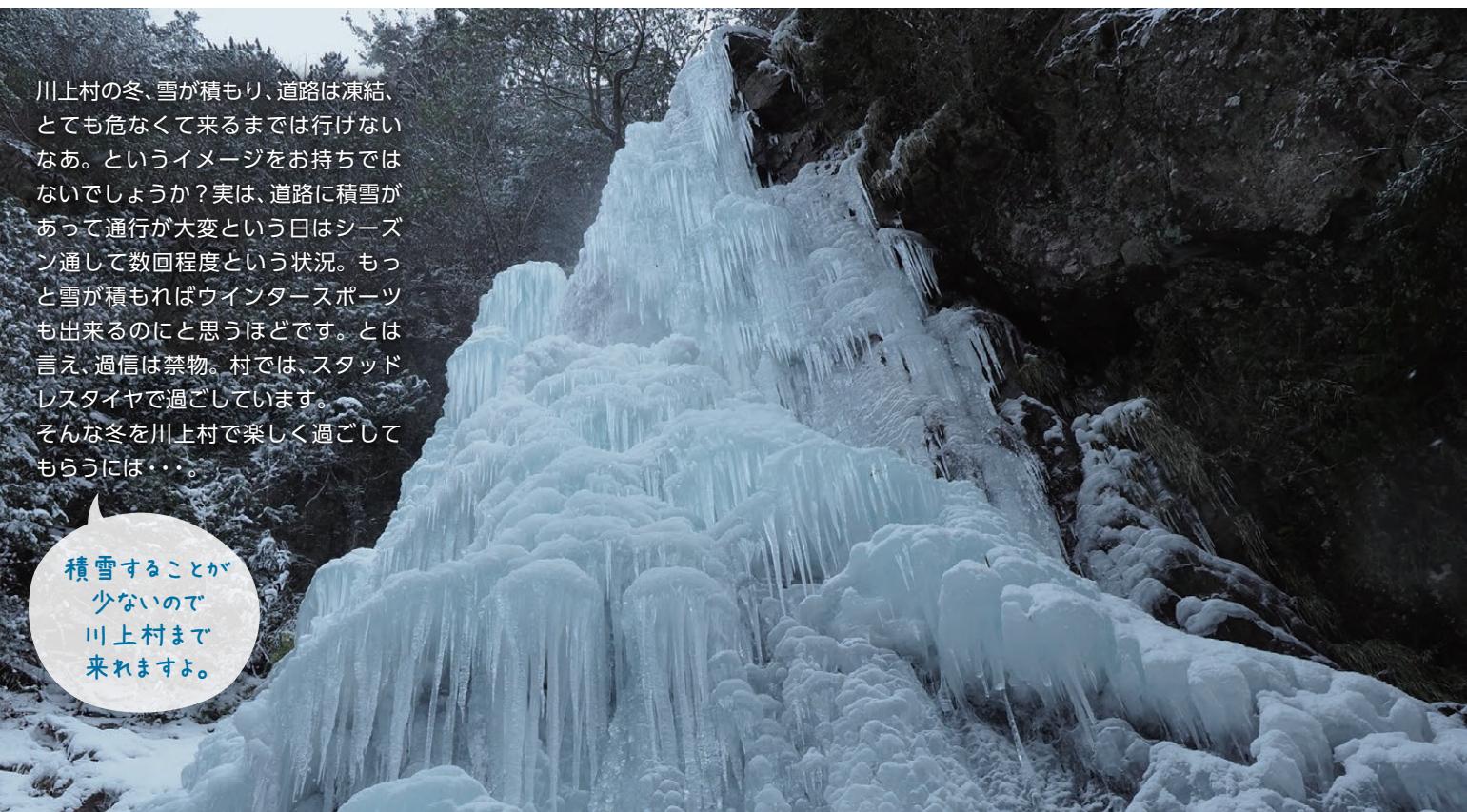


Kawakami Information

川上村がいつもより楽しくなる「冬」のおすすめを紹介！

川上村の冬、雪が積もり、道路は凍結、とても危なくて来るまでは行けないなあ。というイメージをお持ちではないでしょうか？実は、道路に積雪があるって通行が大変という日はシーズンを通して数回程度という状況。もつと雪が積もればウインターポーツも出来るのにと思うほどです。とは言え、過信は禁物。村では、スタッドレスタイヤで過ごしています。そんな冬を川上村で楽しく過ごしてもらうには…。

積雪することが少ない
川上村まで
来れますよ。



大寒（1月20日ごろ）からの冷え込みによって、滝が凍り御船の滝に「氷瀑」が現れます。この自然がつくる芸術を案内する体験プログラムもあります。



浴槽

内湯が総杉づくり。露天風呂がケヤキの丸太をくり貫いたものとなっています。源泉かけ流し、ナトリウム一炭酸水素塩で39°Cです。

料理

南朝鍋/牡丹鍋
各種鍋料理
(冬季数量限定)
熊鍋

しおのは 入之波温泉 山鳩湯

寒い日にはあったかい温泉と心づくしのお料理を楽しむのはいかがでしょうか。

入之波（しおのは）には昔から吉野川の河畔にお湯が湧いていました。川原を囲って温泉を楽しんでいた時代もありましたが、大迫ダムによって水没。後に掘削したところ温泉がわき出したそうです。

入之波の奥に三之公という場所があり、後醍醐天皇の後の時代に三人の南朝方の皇族が隠れ住んだことから三之公と呼ばれるようになったのですが、その方たちに村人たちが新鮮な川魚や山菜、野菜などを秘伝の味噌で仕立てた鍋物を南朝鍋として提供されています。最近ではアマゴの釜めしも美味しいと人気を集めています。



入之波温泉 山鳩湯

TEL 0746-54-0262 営業時間 10:00~17:00 定休日 4月~10月…水曜日、11月~3月…火・水曜日

近くの見どころ



八幡平から移転した「三之公神社」があります。近くには桜があり、春を待つ姿が見られます。



大迫ダム湖に架かる入之波大橋

昭和49年に完成した大迫ダムによって入之波集落が水没し、100軒あったうち20軒余りがこの地に再建され、それから半世紀で様子も変わりましたが、ダム湖に映る入之波大橋の姿を温泉に入りながら見ることもできます。風のない穏やかなときには鏡に映し出された逆さの橋の姿を写真に収めることができます。

湯盛温泉 ホテル杉の湯

もう一つ昭和63年にオープンしたホテル杉の湯の温泉は「湯盛温泉」と名付けられました。

昔、高原地区に湯盛杉という場所で温泉が湧いており、軍馬の養生に利用されていたという話からホテル開業のために掘削して出た冷泉を「湯盛温泉」と呼ぶようになりました。

泉質は、含二酸化炭素・鉄(II)一カルシウム・ナトリウム・炭酸水素塩冷鉱泉(低張性・中性・冷鉱泉)、適応症は、きりきず、末梢循環障害、冷え性、自律神経不安定症となっています。



浴槽

金明の湯
内湯:高野槇、露天:岩風呂
銀明の湯
内湯:石造り、露天:高野槇/41°C
男女入替え有り

料理

〈冬季限定〉牡丹鍋、寄鍋
各種会席

湯盛温泉ホテル 杉の湯

TEL 0746-52-0006 宿泊 年中無休 曜日入り浴 11:00~16:30 定休日 水曜日

近くの見どころ



星空

ホテルから隣の宮の平に向って遊歩道があります。川上村の夜は空気が澄んでいることと、明かりも少ないため、星空はすごく良く見えます。特に冬の空は格別の美しさがあります。ただし、空が少し狭いです。

丹生川上神社上社

延喜式に記され、二十二社にも数えられる由緒ある神社で大滝ダムによって水没、平成10年に現在の場所に再建されました。冬の境内の凜とした空気の中で参拝すると身もこころも洗われたような気がします。

森と水の源流館

川上村の自然や歴史民俗の展示があり、未来をになう子ども達に森や水の大切さを知って欲しいと願い、館内の展示はもちろん自然豊かな川上村をフィールドにした野外体験プログラムを実施しています。

かきもち



冬の食べ物と言えば、昔懐かしいのは、かきもち。火鉢でかきもちを炙りながら大きくして良くなべたものでした。こんな話が分かるのは何歳以上の人でしょうか。

道の駅でよく売れている「かきもち」は「ぱくぱく館」で作られています。一年で一番寒い冬の時期にまとめてお餅を搗き、乾燥させます。そして注文があったときに揚げているのだとか。ほんのり甘くてパリッとした食感がやめられない! ごま、青のり、えびの3種類の味が楽しめます。元々は川上村の家庭の味でしたが、今ではお土産として親しまれています。

きりこ



お餅を細かく刻んであげた「きりこ」は、一口サイズで食べ始めたら止まりません。茶粥と一緒に食べたという話も聞きます。寒い冬があるからこそできる、素朴ながらも暮らしの知恵がつまった「きりこ」です。

かわかみ源流ツーリズム3周年記念 「ファンミーティング」を 開催しました。

7月19日の「奈良県山の日川の日」で、まる3年を過ぎました。

この間に体験プログラムのガイドとなってくれた、村民ガイドの方々と体験プログラムに参加していただいた方々そして財団法人関係者で、みなさんに感謝する意味で交流会を開催しました。

村民ガイド14人、参加者16人、関係者11人が事務所に集合。川上村のひづかし(おやつ)として食べていた「しきしき」や特産品の柿の葉寿司、かきもち、火打ち餅などお手製のシソジュース、手作りこんにゃくなどを食べながらワイワイ、ガヤガヤと楽しいひとときを過ごしました。

参加者の小学生からは「川上村の人たちは、話しやすい」「いくつものプログラムに参加した」と、その親御



さんからは「引っ込み思案だった子が、こんなに話ができるようになった。川上村の人たちに育ててもらった」とうれしい話が聞けました。

他にも「川上村が大好きです。村の人たちの温かさや癒しを求めて村に来ています」「しめ縄づくりに出会ったのがきっかけ。都会より田舎に興味がある。子どもにはいろんな経験をさせたい」「子どもが行きたいという前にお母さんが、情報が届いたらすぐに申し込んでくれる」とこちらからの情報を今か今かと待っていてくれる様子が伝わりました。

ガイドさんからも「今日の集いでみんながおしゃってくれた言葉に勇気をもらった」「川上村の魅力は“人”だということに確信をもてた」「かわかみ源流ツーリズムの役割が大きく、本当に大切だと感じた」との話が。

最後に理事長から「みんなの発言にうれしくて涙が出そうになる。3周年でここまで関係性をつくってきた。何十年後もツーリズムがこの関係性をもっと強く、広げられているように私たちみんなで頑張りたい」と述べられました。

かわかみ源流ツーリズム、 旅行業を取得しました！

「かわかみ源流ツーリズム」をより発展させるために、旅行業を取得しました。

8月25日付で登録が完了し、いよいよスタートです。

今までの体験プログラムの実施によって、川上村の魅力は人だと感じています。

美しい自然と豊かな文化に囲まれた川上村で「ここ

にしかない旅」「心に残る旅」をお届けできるよう、歩んでいきます。今後は、奈良県内、吉野川・紀の川流域へもさらにネットワークを広げ、地域間連携型ツアーも構想していきます。

主人公は村民のみなさまです。今後の動きにご支援、ご協力をお願いします。

冬の体験プログラム 申し込み受付開始

2025年12月～2026年2月までの冬の体験プログラムが盛りだくさん！
川上村の自然・歴史・文化に触れて楽しいひと時をお過ごしください。



■ 申込方法

※お申込みの際は必ず注意事項をよく読んでからお申込みください。

Web



公式サイトから簡単予約

かわかみ源流ツーリズム
公式サイト

<https://g-tourism.jp/>

Tel



お電話で直接予約

かわかみ源流ツーリズム
電話番号

0746-52-0333

■ ひとめぐり かわかみ

体験プログラムのお申し込みについて

○体験プログラムにご参加いただくには、事前にご予約が必要です。

各プログラムに記載のお申し込み先へ予約をしてください。

○申し込みの際は、参加者全員の ①お名前 ②お電話番号 ③ご住所 ④生年月日
(保険加入用)をお知らせください。

※小学生以下の方は保護者の参加も必要です。

〈ご注意・お願い〉 ※必ずご確認ください

○お申し込み時点ではご参加は確定なりません。必ず主催者からの連絡をご確認ください。○参加予約は先着順となります。定員に達したプログラムは応募を締め切らせていただきます。○最少催行人数に達しないプログラムは中止となります。原則開催日の10日前をめどに実施の可否を判断いたします。○お申し込み・お支払方法、キャンセル規定等はお申し込み先により異なります。○各主催者がみなさまの参加を楽しみに事前の準備をしております。お申し込み後、やむなく参加を取りやめる場合は、必ずご連絡をお願いいたします。プログラムによってはキャンセル料が必要な場合がございます。詳細はホームページをご覧いただくか、お電話にてお問い合わせください。○プログラムは天候や諸事情により内容が変更されたり、中止となる場合がございます。○自然現象や野生動植物はご覧いただけない場合がございます。○各プログラムの集合時間、集合場所、持ち物、詳細や注意事項等はかわかみ源流ツーリズムウェブサイトにて必ず事前にご確認ください。○今後の参考とさせていただきますので、アンケートのご協力ををお願いいたします。○いただいた個人情報は、体験プログラムの手配・連絡、保険加入、当財団からの商品・サービスのご案内、個人を識別できない形式の統計情報として使用いたします。○プログラム実施中、記録写真・動画の撮影を行います。撮影した写真や動画は報告書やSNS、体験プログラムの広報にて使用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

武道ツーリズム

武道ツーリズムとは日本発祥の「武道」と観光を融合した新たな旅のスタイルです。

日本でしか体験できない武道と文化が融合した希少性の高いツーリズムとして、海外からも高い関心が寄せられています。

川上村では、剣道範士八段 上垣功氏が指導する剣道稽古会の見学、体験ができます。

最近では、武道の動きを活用したリハビリが高齢者の健康維持に効果があると言われています。武道（剣道）の体験をしてみませんか。初心者の方も歓迎です。ぜひご相談ください。

◆問い合わせ かわかみ源流ツーリズム TEL 0746-52-0333



12/6

幸せを呼び込むカタチ 馬蹄 三日月型リースづくり



日 時 2025年12月6日(土)

午前の部 10:30～12:30／午後の部 14:00～16:00

集合場所 かわかみ源流ツーリズム 会場 ホテル杉の湯ロビー

参 加 費 6,300円(税込)

※ガイド料、体験料含む

定 員 5名(最少催行人数3名)

クリスマスにもぴったり、幸運のアイテムである「馬蹄」をイメージしたリースをつくってみませんか。フレッシュなモミ、サツマスギ、川上村産のヒノキに木の実などでクリスマスデコレーションをします。

2026年の干支は「うま」なので、馬蹄モチーフとしてクリスマスが過ぎてもお正月飾りとしてもお使いいただけます。サイズは約50cm。左右対称にしたりアシンメトリーにしたりとご自由にお作りいただけます。

馬蹄のU字フォルムが幸運を受け止める器として古くから縁起の良いアイテムとされています。作品完成後は、ガイドの山本さんとホテルのコーヒーを飲みながら楽しいおしゃべりを！

ガイド

木いろの色

山本 麻記子さん

川上村の出身で現在は権原市で創作活動をされていて、カフェなどいろいろな場所でワークショップもされています。「木いろの色」で検索。好きなモノ「木と黄色」を合わせた屋号だそうです。自分の名前の漢字に木が入っていて、その漢字を屋号にも入れたいと思い、黄色を木いろにして、木いろの色と名付けられたそうです。



12/7

昔ながらのこだわりのおいしいこんにゃく作り



日 時 2025年12月7日(日) 13:00～15:30

集合場所 かわかみ源流ツーリズム 会場 川上村高原 大辻商店

参 加 費 5,000円(税込)

※ガイド料、体験料含む

定 員 5名(最少催行人数4名)

大辻さんはこんにゃく作りを始めたころから、木を燃やしてできる灰にこだわっています。

木の灰の灰汁(アク)を使う昔ながらのこんにゃく作りを教えてもらいます。

今年で4回目のプログラムとなります。最初はうまくいかなかった方も。その後は大辻さんの教えを守って、みなさん上手に作って持ち帰っていますのでご安心を。

大辻さんのこんにゃくは、昨年春日大社に神饌の一つとしてお供えされています。刺身こんにゃくでも良し、大辻さんお手製のゆず味噌で食べると絶品。道の駅でも大人気です！

ガイド

大辻商店

大辻 徹路さん

大辻さんは20代の頃に結婚し高原で山守の仕事を始められました。かつての林業が盛んだったころのエピソードなどの話を聞けます。こんにゃくづくりは奥様から引き継いでからとなります。既に20年余り。大切に守られています。



12/13

お正月用の「しめ縄づくり」にチャレンジ



日 時 2025年12月13日(土) 13:30~15:30

集合場所 かわかみ源流ツーリズム 会場 ホテル杉の湯ロビー

参 加 費 **3,500円(税込)** / 3歳以上小学生以下 **3,000円(税込)**

※体験料、ガイド料含む

定 員 **8名**(最少催行人数5名)

お正月になるとよく目にしめるしめ縄。最近はお店で購入する方も増えたようですが、昔は各家庭で作っていました。昔は生活の一部だったしめ縄づくりも今では作れる人はごくわずか。村のしめ縄づくりの名人といっしょに、昔の暮らしの中のしめ飾りの話を聞きながら、また何のために、どんな意味があるの?を教えてもらいながらしめ縄を作ります。

昨年は、小学生も上手に出来るようになりました。自分で作ったしめ飾りで新しい年を迎えてみませんか。

しめ縄完成後は、ガイドの村上先生とホテルのコーヒーを飲みながら楽しいおしゃべりを!

ガイド

村上 哲郎さん

岡山県生まれの86歳。教師として最初に川上村に赴任し、多くの教え子を持つ先生です。子どものころの体験を活かししめ縄づくりのガイドに。村の歴史、民俗にと探求心旺盛な村上先生です。



12/20

杉と桧の干支づくり “午”



日 時 2025年12月20日(土)

10:30~12:30 / 14:00~16:00

集合場所 かわかみ源流ツーリズム 会場 ホテル杉の湯ロビー

参 加 費 **5,800円(税込)**

※ガイド料、体験料含む

定 員 **6名**(最少催行人数2名)

前回お正月飾りとして鏡餅にも干支の巳にも使える置物をつくりました。

今回も干支シリーズとして“午”を作ります。杉と桧でつくったキットを組立て、しっぽやたてがみを付けたり、オリジナルの“午”をつくってみませんか?

杉や桧の香りが、“午”をより一層温かく、愛おしいものにしてくれます。

ガイドの「白い犬」山本さんに教わり、自分だけのお正月飾りで新しい年を迎えるのはいかがでしょうか?

2026年も良い年でありますように。

作品完成後は、ガイドの山本さんとホテルのコーヒーを飲みながら楽しいおしゃべりを!

ガイド

白い犬～Anjing Putih～

山本 直美さん

川上村産の杉と桧を使った作品をつくりています。代表作は、“癒しのりんご”。木の持つ柔らかさや温かさを非常にうまく表現されている作品です。伯母谷という集落で頑張って創作活動をされています。



1/17

自然の石からオリジナルの絵の具作り



日 時 2026年1月17日(土) 13:00~15:00

集合場所 匠の聚(たくみのむら)

参 加 費 **4,500円(税込)**

※ガイド料、体験料含む

定 員 **10名**(最少催行人数5名)

前回、大変好評だったことを受けて、今回も「匠の聚」周辺にある「身近な石」を自分で探して、それを碎いて絵の具を作ります。硬い石も意外と碎けるものです。作った絵の具を使って、はがき大の和紙に好きな絵を描きます。

ガイドは「匠の聚」在住、日本画家の岸上ゆかさん。最後はめったに入ることの出来ない岸上先生のアトリエを訪ねます。作品が生み出される苦労や川上村の魅力や暮らしの中でのエピソードなどのお話を聞かせいただきます。

※雨天の場合、一部内容を変更して実施いたします。

ガイド

日本画家

岸上 ゆかさん

岸上さんは、和歌山県出身の方で、匠の聚が発足当時から匠の聚在住の作家として活躍されています。日本画家として、数々の賞を受けられています。何より川上村を愛され、近年は“水”をテーマに川上村の自然を描き国内外に発表しています。



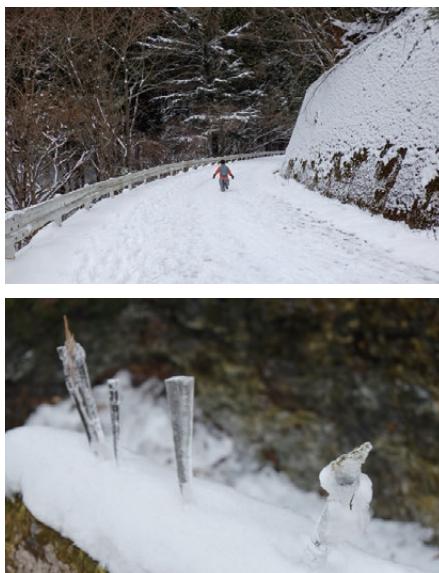
1/24

1/25

1/31

2/1

冬の絶景!凍る滝を見に行こう 「御船の滝・氷瀑」



日 時 2026年1月24日(土)・25日(日)・31日(土)、
2月1日(日) 7:30~11:00

集合場所 かわかみ源流ツーリズム

参 加 費 **8,500円(税込)** ※ホテル杉の湯 日帰り温泉入浴券付

※ガイド料、体験料含む(アイゼン、ストックが必要と判断した場合貸し出し)

定 員 **10名**(最少催行人数4名)

大寒(1月20日ごろ)からの冷え込みによって、滝が凍り御船の滝に「氷瀑」が現れます。

最近の温暖化の状況では、いつ、確実に氷瀑が現れるとは言えない状況ですが、それだけに迫力満点の氷瀑に出会ったときの感動は代え難いものがあります。

「井冰鹿の里」から1時間程度、積雪の林道や森林を歩き氷瀑を見に行きましょう!

案内人は奈良でアウトドアツアーを行っているエバーグリーンさん。冬の道の歩き方をレクチャーしてくれるので初心者の方も安心です。

※自然の現象なので雪が積もっていない、氷瀑が現れない場合もございます。

ガイド

エバーグリーン

廣末 優さん

五條市を拠点にラフティングやトレッキング、キャニオニングなどを展開されています。

川上村の川との出会いが、運命を変えたとも言えます。キャニオニングもようやく認められるようになって、恩返しをしたいとも言われています。



1/24~2/23

もう一つ選べる、「御船の滝・氷瀑」



日 時 2026年1月24日(土)~2月23日(月・祝) 9:30~13:30

※期間中毎日開催(完全予約制)前日12時まで予約可能・氷瀑の形成状況により変更あり

集合場所 かわかみ源流ツーリズム ※水曜日はヨイヨイかわかみ 解散は川上村役場前

参 加 費 期間中各日 7,000円(税込)

※ガイド料、体験料含む
(軽アイゼン、保険料、温かい飲み物、送迎費用等)

定 員 7名(最少催行人数2名)

※こちらのツアーは、QRコードより直接ヨイヨイかわかみにお申込み下さい。

【対象年齢】
小学生以上



川上村の冬と言えば「御船の滝・氷瀑」と言うほど有名になってきています。人気があることで見学に行く人が集中して道路や駐車場(井冰鹿の里)が溢れるなどの問題が出ています。

また、自然現象なので、凍結の時期がこの日とは確実につかむことはできません。

そこで、氷瀑が出来そうな期間にいつでも案内できることで、見学に行く人が分散され、ニーズと課題解決にも貢献できると思います。

期間中、希望日の前日までに申し込んでいただくと、実施出来るかを返事させていただきます。

ガイド

ヨイヨイかわかみ

猪腰さん、安田さん、竹中さん

yoioiは、普段はおおたき龍神湖でのカヌー・サップやケービング、トレッキングなどのプログラムを3人のメンバーでガイドをやっています。3人ともに移住組でその体験談を話することで川上村の魅力を発信することが出来るとも考えています。

安田さんはコケ観察や昆虫採集や山菜取りなどを案内する自然派ガイド。昨年からは星空観察会も実施している。猪腰さんは主にキャニオニングやカヌーのガイドをしています。竹中さんはエベレストも走破する登山家でもあります。



「氷瀑ツアー」・ルールの呼び掛け

体験プログラムを企画する中で、「御船の滝の氷瀑ツアー」に参加してくださる方はガイドが案内することでトラブルもなく無事に満足されて帰っていただいている。

しかし、ツアーに参加する以外にもたくさん的人が氷瀑を見に来てくれる場合があります。

雪道に慣れていない方やそもそもスタッドレスタイヤを履いていない、タイヤチェーンを持っていないで登ろうとする人も中にはいます。途中で登れなくなるとか、駐車場に入れないで林道に無断で駐車する方もいました。

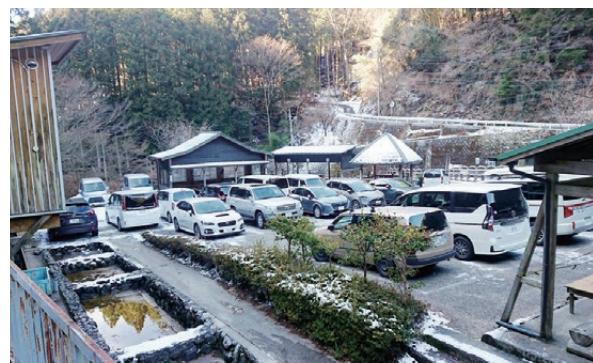
村ではその対策として、駐車場がいっぱいになった時には所有者の許可を得て、国道付近の広場に駐車してもらい、そこから歩いて行ってもらうようにしています。

どうしても、土、日曜日に集中すること、寒さが続かないと氷瀑が現れないことで、寒くなった日に集中することも考えられます。そこで1月中旬から2月中旬まで

の間は、いつでも案内できる形になりました。(本ページ上の段のプログラム)

無理のない運転や十分な対策を取っていただくこと、出来るだけツアーに申し込んでいただくことで氷瀑を満喫していただけるものと思っています。

全国各地で観光のオーバーツーリズム問題が起きていますが、みなさんのご協力によってうまく運営出来ている「氷瀑ツアー」にしたいと思います。



「村上先生」と村上哲郎さんは、新任の頃より川上村の小・中学校で教鞭をとつておられました。村に住みながら、長年先生をされていたので、村中教え子だらけ。今は、シニアクラブの活動でもしめ縄作りの先生をされています。

今では、家や神棚にしめ縄を飾るという風習も薄れています。こと神仏を大切にしていると言われる川上村においても、その流れは顕著に。お正月にしめ縄飾りもしない家もだんだん増えているという時代。シニアクラブの活動で山幸彦まつり（村のお祭り）でしめ縄の販売もしていますが、しめ縄を作れるという会員さんも少なくなっています。そんな中、村上先生に体験プログラ

藁を縄うように 人と人を結ぶ



① 村上 哲郎さん

①ガイドの村上先生 ②手を擦っているだけのよう見えるけど…。
③子どもにもわかりやすく教える先生 ④手元を見なくともあつとい
う間に ⑤それぞれ立派なしめ縄が



ムで「しめ縄作り」を教えてもらいたいとお願いしました。「遠い川上村まで来てもらつて高い参加費まで払つて来てくれる人がいるんだろうか」と心配をいただきながら企画をすすめました。「子どもの頃は自分でわら草履をつくり、学校へ行つていった」という先生の体験談を含めて、藁を使うことはくらしの一部であったことなどを教えていただきたいと話し合いを重ねました。

蓋を開けてみると定員いっぱい。せっかく来てくれるんだ。合はせているだけのように見えるのですが、実際にやってみるとこれが難しい作業。頭で考えるとこんながらがるような作業に苦戦する人も。これができないとしめ縄はできないので、

から」と先生の準備にますます熱が入つてきます。スタッフと先生は米農家さんにしめ縄用に藁を残しておいて欲しいと頼み、刈り取った翌日に田んぼに寝かされているもち米の藁を束ねて持ち帰つて、しばらくの間天日に干しておきました。そしてあらかじめ藁を木槌で叩いてシビ取りします。プログラム実施の前にまた、木槌で叩き柔らかくします。スタッフも経験がないので苦労しました。

しめ縄の基本は「縄を縄（なう）こと。一見、手を擦り合わせてているだけのように見えるのですが、実際にやってみるとこれが難しい作業。頭で考えるとこんながらがるような作業に苦戦する人も。これができないとしめ縄はできないので、

必死にくらいつきます。「子どもが上手にやつてくれたいたのがよかったです」と先生。スタッフも事前に講習を受けたのですが、参加されたみなさんの出来栄えが素晴らしくその差に驚かされました。

しめ縄とはどういうものかについても教えてくれました。そもそもは神様のいる場所と俗世を分ける結界の意味を表すもので、お正月のしめ飾りは年神様をお迎えする場所を示すものということのよう。

村上先生は、「日本人が忘れかけている。古くからの慣習。その本当の意味を伝えていくことも大切なこと。源流ツーリズムの企画にはそんな思いも含まれている」と思い精一杯やらせてもらつていて」と話してくださいました。

川上村で569年の時を超えてひつそり続けられている儀式がある。「御朝拝式」。南北朝の後の「後南朝」と呼ばれる時代、悲運の最期を遂げた自天王を偲び、自天王が即位された際の「朝賀大礼」に倣つた形で厳かに執り行われる。今までこそ見学することができるようになつたが、これまで秘された儀式として村人たちに守られ、他言無用で続けられてきた。

川上村朝拝式保存会の会長（総代長）を務める中平繁和さん。川上村高原（たかはら）で生まれ育ち、25歳頃より高原区の神仏を取り仕切る「十二人衆」の一員として御朝拝式に携わってきた。川上村役場職員として勤めながら、地域の行事ごとにも積極的に参加されてきたそ

うだ。根底にあるのは、先祖から受け継いだ自分たちの住む地域・村を想う気持ち。川上村朝拝式保存会が設立された年にも高原区の総代として関わっており、以降も理事などを歴任されており、世話を好きで、引き受けたら何事にも一生懸命に取り組む性格から、いろいろなことを頼まれているご様子。

長禄2年（1458年）最初の御朝拝式は御座璽にて執り行われたが、江戸時代、徳川家光の命により「七保」「四保」「六保」の3か所に分散して執り行うこととなつた。その際に自天王の遺品も分けられ、中平さんははじめ、保存会の方々にお話を伺うと、どれだけ時代が違っていても自分たちがまるで見てきたかのようにお話していくのが非常に興味深い。時代を超えた想いが継承されているのを目の当たりにする瞬間だ。

七保の中でも持ち回りをしていた頃、高原区では福源寺にて儀式を行い、南帝王の森（注1）へお参りし、直会を行つていたそうだ。儀式の中

心に据えられていた兜。2025年夏、春日大社宝物殿でおこなわれた『究極の国宝 大鎧展』展示の調査で「保存状態が良く、ものすごいものであることが分かった」と興奮気味にお話してくれた。そこには、先人たちの想いを受け継ぎ、ださつた。そこには、先人たちの想いを受け継ぎ、しっかりと守ってきたという誇りを感じた。

秘められた歴史がひも解かれていく中で、新聞やテレビ取材も増えてきた。これまで語られていなかつた、知り得なかつた話も聞かれるようになってきている。中平さんは「取材を受けること、自分たちも今まで聞いてきたこと以上に勉強しなくては。今現在ならではの課題もあり、簡素化が求められる行事だけど、時代によつて変えていかなければならぬ部分もあるが、変えすぎてもいけない」とし、「自分たちには先人たちが守り伝えてきた村の伝統を伝えていく使命がある」と力強く語つてくださつた。

注1・高原に逃げのびた自天王の弟・忠義王の陵墓参考地とされています。

川上村朝拝式保存会 会長 中平繁和さん

時を超えて 守り伝える“想い”



①出仕者のみなさんと ②御朝拝式に向かう ③自天親王神社へ参拝
④玉串奉獻 ⑤宝物殿



冬の宿泊・日帰りツアー募集予告

実施日:2026年1月11日(日)

弓祝式ツアー

川上村指定無形文化財に指定されている弓祝式というお祭りがあります。男性3名が弓の引き手に選ばれ、運川寺境内から40メートル離れた鳥川神社境内の的に矢を放つ悪魔払いの伝統行事で、約1100年の歴史を持ちます。

日帰り



実施日:2026年1月24日(土)・25日(日)・31日(日)、
2月1日(日)

御船の滝 氷瀑ツアー

宿泊 日帰り

※宿泊プランは前日出発

川上村にある名瀑・御船の滝が冬の寒さで凍りつく壮大な氷瀑(ひょうばく)を見に行く、冬限定の自然体験ツアーです。凍結のタイミングが限られるため、その時期だけの絶景を見られる貴重なツアーです。



実施日:2026年2月5日(木)

御朝拝式ツアー

宿泊 日帰り

※宿泊プランは前日出発

川上村の金剛寺で毎年2月5日に行われる、560年以上続く伝統行事です。後南朝の自天王が悲運の最期を遂げたことを偲び、その御靈を慰めるために営まれます。



※募集(詳細)開始は2025年12月を予定しています

アクセス

近鉄電車でお越しの方



お車でお越しの方



川上村(迫)



問い合わせ先

 かわかみ
源流ツーリズム
KAWAKAMI GENRYU TOURISM

一般財団法人 かわかみ源流ツーリズム
〒639-3553
奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の3(川上村商工会館1階)
TEL.0746-52-0333 <https://g-tourism.jp/>

